

教育委員会会議録（10月定例会）

<u>日 時</u>	平成27年10月23日（金） 午後3時00分から午後3時45分まで	
<u>場 所</u>	教育プラザ ギャラリーB室	
<u>出席委員</u>	委員長 委員長職務代行者 委 員 委 員 教育長	森嶋 鎮一郎 上村 由美 花田 和郎 伊藤 吾子 中山 俊恵
<u>委員以外の出席者</u>	教育部長 総務課長 学校施設課長 学務課長 生涯学習課長 スポーツ振興課長 スポーツ振興課課長 新体育館建設課長 指導課長 郷土博物館課長 記念図書館長(兼)視聴覚センター所長 教育研究所長 宮田調理場長 保健福祉部子ども局子ども福祉課長 総務課課長補佐(兼)庶務係長 総務課課長補佐(兼)計画財務係長 総務課係長(企画員) 総務課主幹 総務課主事	吉成 日出男 清水 透 関根 博之 内山 信弘 佐川 勝宣 住谷 玲 吉田 和則 千葉 忠好 川崎 恭子 村田 和雄 鈴木 士郎 大沢 靖司 川崎 浩行 山田 美幸 中村 大介 酒地 康彦 下村 彰彦 鈴木 由紀恵 宇佐美 亮

議 事

1 報 告

報告第10号 教育委員会9月定例会の会議録について

2 その他

- (1) 平成28年度日立市予算編成方針について
- (2) 寄附（木版画）の受入れについて
- (3) 教育月間特別講演会の開催について
- (4) その他
- (5) 次回の教育委員会の日程について

会 議 の 概 要

1 開 会

午後3時00分

委 員 長

それでは、只今から10月の教育委員会定例会を開催します。
本日は、傍聴希望者が3名おります。
傍聴を認めてよろしいでしょうか。

全 委 員

結構です。

(傍聴人入室)

2 報 告

報 告 第 1 0 号

教育委員会9月定例会の会議録について

委 員 長

それでは、まず、報告第10号について御意見を伺います。
いかがでしょうか。

全 委 員

特にありません。

(本件については原案どおり承認されました。)

3 そ の 他

(1) 平成28年度日立市予算編成方針について

委 員 長

続きまして、その他に移らせていただきます。
その他(1)について、教育部長から説明をお願いします。

教 育 部 長

平成28年度日立市予算編成方針について、説明します。
日立市財政課から、来年度の予選編成方針が示されましたので、説明するものでございます。
まず、景気の現状と先行きについてです。
内閣府では、「景気は、このところ一部に鈍い動きもみられるが、緩やかな回復基調が続いている」との基調判断を示しており、県内の経済も、「持ち直しの動きが続いており、民需主導による回復が

期待される」と見られています。

一方で、その成果は、中小企業への恩恵が少ないという側面もあることから、地方にあっては、いまだにその効果を実感するまでには至っていないのが実情です。

これらを踏まえまして、本市においては、引き続き、国内外の社会経済情勢や、国の施策等の動向を注視していく必要があります。

次に、本市の財政状況と収支見通しについてです。

平成27年度の一般会計当初予算額は、過去最大の予算規模を更新するなど増加傾向にあり、今後も、義務的経費の増加が見込まれています。

一方、収入の見通しとしましては、人口減少や少子高齢化などによって、市税収入の減少が避けられない状況にあります。

本市の財政運営としましては、ここ数年の予算編成において、その収支不足分を、基金から一時的に多額の繰入れを行うことで均衡を図っていますが、収支バランスの取れない厳しい財政状況が続きますと、硬直化が進行し、弾力的な運用ができなくなることを危惧しているところです。

これらのことから、経常経費を中心とした既存事業の見直しを行うなど、持続可能な財政運営に取り組む必要があると考えているところです。

次に、平成28年度予算編成の基本方針です。

本市を取り巻く状況としましては、東日本大震災からの復旧復興も概ね完了という状況の中、将来を見据えた中長期的課題の解決を図るとともに、喫緊の課題として、人口減少問題に特化した地方創生への取組が急がれ、社会情勢や環境の変化に適切に対応し、多様化する市民ニーズに効果的・効率的に答えていくことが求められています。

これらを踏まえまして、現在、新たな日立市を目指すため、市政運営の基本目標として掲げた「みんなの力で地域共創 安心と活力に満ち、笑顔輝くまち」の実現を目指し、取り組んでいるところです。

これにより、平成28年度の予算編成は、限られた財源を最大限に有効活用することにより、機動的でメリハリのある予算対応をもって諸課題の解決を図るということを基本に、次の考え方に基づき行っていきます。

まず、中長期的課題への的確な対応についてです。

これについては、中長期的な展望に立った施策の展開を念頭に、事業の優先度、効率性及び有効性等の観点から徹底検証を行った上で、事業の組立てを行うこととします。

次に、地方創生の本格的な推進です。

平成28年度は、本格的な事業推進の段階となることから、若年

層や子育て世代を対象とした定住促進をはじめ、地方創生に向けた施策の推進においては、策定中の総合戦略等の方針に則り、予算要求を行います。

次に、行政運営の更なる効率化です。

前例踏襲ではなく、発想の転換と、創意工夫を凝らして事業に取り組むとともに、日立市行財政改革大綱については、掲載された推進事項の取組を遅滞なく進め、公共施設マネジメントの推進に当たっては、方針等に従い、計画的かつ効果的な事業の実施に向けて、所要の事業費を計上していきます。

続いて、財政の健全化の推進です。

将来に過度な負担を残さないよう、会計間、団体間の予算の調整を行うこととし、平成26年度決算の状況や、平成27年度予算の執行状況等を十分に分析し、不用額の縮減に向けて取り組み、予算の大部分を占めます経常経費については、事業の存廃を含めた抜本的な見直しを行うことにより、行政コストの削減合理化に努め、財政の健全化の推進を図ります。

最後に、各部課の主体的な取組（シーリング、選択と集中による予算編成）です。

経常経費及び補助金につきましては、平成27年度当初予算額を上限としたシーリングにより予算編成を行うこととし、さらに、各部課が主体的に事業の取捨選択を図るとともに、新規事業の構築に当たっては、既存事業のスクラップ・アンド・ビルドによる再構築を基本とし、積極的な見直しを進めることとします。

これらを踏まえまして、現在、教育委員会事務局内では、経常経費、事業費について見直しを行い、来年度の予算編成事務を進めているところです。

編成に当たりましては、日立市学校教育振興プランに掲げております5本の柱を踏まえまして、既存事業の見直しを進めますとともに、「日立市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に登載する教育に関する新たな事業について、取り組んでまいりたいと考えています。

なお、教育委員会における平成27年度当初予算額は、84億500万円でした。厳しい財政環境ではありますが、子どもたちのより良い学校教育環境の整備、充実した教育行政の実現に向けて、事務局内で予算を取りまとめながら、委員の皆様のご意見をいただき、事業実施に取り組んでいきたいと考えております。

（2）寄附（木版画）の受入れについて

委員長 それでは次に、その他（2）について、指導課長から説明をお願いします。

いします。

指導課長 木版画の寄附を受け入れたことについて、報告します。
寄附申込者は、金城 順子氏です。
寄附物品は、木版画25点で、うち故人である申込者の夫の金城 徳幸氏の作品が19点、徳幸氏が師事していた富張 弘司氏の作品が6点です。
寄附の趣旨としましては、木版画を学校に掲示することで、子どもたちに木版画の素晴らしさを実感してもらい、うるおいのある空間の創出や子どもたちが身近な場所で芸術にふれる機会を増やすことに役立ててほしいというものです。
なお、木版画は、平成27年10月19日（月）に受け入れまして、随時、希望のあった市内小中学校に掲示します。

教育長 金城徳幸さんは、日立製作所日立研究所に勤務されていた方で、研究の合間に、茨城県内やその近郊を散策しながら作品を作成されていたようです。
理科系の仕事をしながらアートに取り組まれていたことは、ある意味、日立市の子どもたちにとっても良い刺激になるのではないかと思います。

委員 出身はどちらですか。

教育長 出身は富山県高岡市で、北海道の大学を卒業された後、日立市にお住まいになっていたようです。

（3）教育月間特別講演会の開催について

委員長 それでは次に、その他（3）について、教育研究所長から説明をお願いします。

教育研究所長 教育月間特別講演会の開催について、説明します。
11月は茨城教育月間となっていますので、日立市においても、11月に教育に関する講演会を実施することとしました。
講演会は、「こどものこころー「心の発達」の理解と支援を考えるー」をテーマとし、子どもたちが大人になるまでの間に、覚え、身につけていかなければならない心の発達課題を知り、その支援のあり方について、共に考えていくという内容のものです。
日時は、平成27年11月9日（月）の15時からで、場所は、ゆうゆう十王Jホールとなります。

講師は、さくら教育研究所所長で、元千葉大学教授である小澤 美代子先生です。

小澤先生は、すでに教育委員の皆様にもお配りしています冊子「子どもの発達を考える」の指導・監修をされました。

冊子には、子どもの育ちについて、大変分かりやすく具体的に書かれているため、各保育園、幼稚園、小・中・特別支援学校の先生方に配布し活用していただいているところですが、小澤先生ご自身からも直接お話を伺いたいということがありまして、今回、講演会を企画しました。

講演会は、教職員だけでなく、保護者の方にも聞いていただきたいと考えていますので、今後も積極的に周知を図っていきます。

(4) その他

委員長 それでは、その他で、ほかにある方はいますか。

生涯学習課長 第28回日立市子どもまつりについて、御案内します。

子どもまつりは、日立市子ども会に加入している子どもたちを中心に、楽しく、にぎやかに、友情を深めるとともに、子どもたちの自主性を育むことなどを目的に、毎年実施しているものです。

今年は、11月15日(日)の9時30分から15時まで、日立製作所日立体育館と会瀬グラウンドを会場に開催します。

早押しクイズ大会、まゆ玉ころがし大会、体験コーナー、チャレンジスタンプラリー、模擬店の出店など、盛りだくさんの内容となっています。

委員 子ども会の会員数が年々減少していると聞きますが、今年はどうのような状況でしょうか。

生涯学習課長 会員数は減少傾向にあり、昨年度あたりから、加入率が50%を切っています。

今年も、昨年度より若干減少しています。

指導課長 児童生徒の表彰等について、報告します。

まず、統計グラフコンクールについてです。

茨城県統計グラフコンクールにおいて教育長賞を受賞した河原子中学校の高野 まつりさん、早見 芽さんによる作品と、河原子小学校の島田 晴紀さん、鈴木 教弘さん、根岸 浩志朗さん、鈴木 隆生さんによる作品、そして、統計協会総裁賞を受賞した坂本小学校

の黒澤 凜さんによる作品が全国コンクールに出品され、坂本小学校の黒澤さんの作品が入選一席、河原子中学校の高野さん、早見さんの作品が佳作を受賞しました。

なお、河原子小学校の児童は、昨年度も県コンクールにおいて受賞しています。

次に、歯と口の健康に関するポスターコンクールについては、宮田小学校の内田 彩月さんと、十王中学校の小林 琉衣さんが茨城県教育長賞を受賞しました。

続いて、平成27年度茨城県交通安全ポスター作品コンクールについては、塙山小学校の黒澤 琉星さんと、成沢小学校の今野 朱美さんが、茨城県交通安全協会会長賞を受賞し、大みか小学校の内山 丈太郎さんが、大好きいばらき県民会議会長賞を受賞しています。

最後に、平成27年度茨城県国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクールについてですが、久慈中学校の木村 希夢さんが、特選である茨城県知事賞を受賞しました。

子ども福祉課長 児童虐待防止推進月間の取組について、説明します。

11月は、児童虐待防止推進月間として、全国的に児童虐待防止に関する啓発活動の取組が行われます。

本市においても、厚生労働省で作成したチラシを基に、日立市独自のチラシを作成しました。

チラシの表面には、虐待に関する市内の相談先として、市子ども福祉課、市健康づくり推進課、児童相談所、いばらき虐待ホットライン、そして、命の危険を感じた時に連絡する日立警察署の連絡先を掲載しているほか、今年の推進月間の標語である『もしかして』あなたが救う小さな手』のフレーズなどを掲載しています。

なお、チラシは、10月30日（金）に日立駅前で行う街頭啓発活動の際に配布するとともに、市内保育園、幼稚園、小・中・特別支援学校にも配布し、各家庭に啓発します。

また、11月6日に茨城県児童福祉施設協議会等が主催する、オレンジリボンたすきリレーが行われます。今年で3回目となり、日立市役所と土浦市役所から茨城県庁を目指してオレンジリボンのたすきをつなぎ、児童虐待の防止を啓発します。

なお、当日は、8時30分に日立市役所で出発式を行います。

また、日立特別支援学校が中継所となっていますので、ランナーの応援について、学校の協力をいただくこととなっています。

委 員 日立市では虐待の件数は増えているのですか。

子ども福祉課長 今年は、比較的相談件数は落ち着いていると感じています。

ただし、見えない部分もありますので、一番身近で関わっている保育園、幼稚園、学校の先生方に、子どものちょっとした変化に気付いていただき、重いものとなる前に関わっていくことが大事であると考えています。

- 子ども福祉課長** 日立市子どもセンターの開所について、報告します。
先月の市議会定例会において、日立市子どもセンターの設置及び管理に関する条例が可決され、今年12月1日にセンターを開所することとなりました。
開所することについては、11月20日号の市報や市ホームページにより市民の方に周知する予定です。
センターは、18歳未満の子どもたちとその家族を切れ目なく総合的に支援することを目的として開設するものです。
まずは、相談機能と子育て支援機能に関する事業を行い、多くの方に利用していただきたいと考えています。

委員 長 その他、何かありますか。

委員 夏休みが終わって2か月近く経ちますが、夏休みが終わると、不登校の子どもたちが増えるのではないかと心配があります。
今年、夏休み後の不登校者数の状況は、どのようになりましたか。

指導課長 不登校者数は、毎月累積して計上されることから、数自体は増えていますが、その伸び幅は、例月よりも少ないものとなっています。
今年9月には、不登校者数が9人、解消者数が5人という報告がありました。

委員 先生方の努力が、ある程度実を結んだのではないかと思います。
やはり、不登校を無くすためには、先生方が危険性のある子どもたちにいかに接し、会話をしながら促すかというところが大きいと思います。
先生方が子どもたちと接する時間を多くとればとるほど、不登校は解消に向かっていくと思いますので、子どもたちと接する時間が十分確保できるような施策に取り組むため、予算の確保に努めていただければと思います。

(6) 次回の教育委員会の日程について

委員 長 それでは、次回の教育委員会の日程について、総務課長からお願いします。

総務課 長 平成27年11月26日(木)に、日立市教育プラザで午後1時から開会予定です。

4 閉 会 午後3時45分

委員 長 それでは、以上をもちまして、教育委員会10月定例会を終了します。